

市民意識調査業務委託（一般調査分） 仕様書

1 委託要旨

多治見市内在住の市民を対象に行う意識調査にかかる調査票の作成・印刷、回収された調査票の集計、グラフ化及び簡易な分析（過去調査との比較を含む）、報告書の作成等。

2 送付数量および回収予想

- | | |
|-------------------------|--|
| (1) 無作為抽出による 2,000 人に郵送 | → 1,000 件
(前回：637 件（郵便）、218 件（Web）) |
| (2) 広報紙による綴じ込み配布 | → 500 件（前回 215 件） |
| (3) ホームページ掲載 | → 100 件（前回 64 件） |

3 業務内容

(1) 調査票の印刷

- ・調査票の原稿は発注者で作成
- ・レイアウト等の校正を発注者に確認のうえ、印刷すること
- ・印刷用紙は受注者負担
- ・A 4 判×4,000 枚（2 枚×2,000 部）、両面、白黒印刷、左上綴じ後三つ折り
※但し、A 3 判×2,000 枚（1 枚×2,000 部）、両面、白黒印刷でも可とする
- ・可能な限り、植物性大豆油インキを使用し、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす紙を使用すること（使用の場合、調査票に表示を入れること）

(2) 依頼文書の印刷

- ・依頼文書の原稿は発注者で作成
- ・印刷用紙は受注者負担
- ・A 4 判×2,000 枚、片面、白黒印刷、三つ折り
- ・可能な限り、植物性大豆油インキを使用し、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす紙を使用すること（使用の場合、調査票に表示を入れること）

(3) 発送作業

- ・調査票一式（依頼文、調査票、返信用封筒）を封入封緘

(4) 回答票の入力

- ・回収予想は上記 2 のとおり。ただし、実際の回収率は不明のため、予想との差異を想定のうえ、積算すること

(5) プログラム作成、クロス集計処理、分析

- ・各項目の単純集計と年齢別、性別、地域別等のクロス集計ほか
- ・グラフ化及び簡易な分析（過去調査との比較を含む）
- ・10 月下旬に単純集計結果のデータを提出すること

【参考】

過去の調査については多治見市ホームページを参照

<https://www.city.tajimi.lg.jp/shisei/kocho/1007580.html>

(6) 報告書作成、データ納品

- ・最終報告書のデータ（図表、グラフ等を含む）及び Web 公開用の PDF ファイルが保存されたCD-ROM
- ・報告書の完成後、報告書の原稿を EXCEL、WORD、PDF データの状態で CD-R にて納品のこと

(7) 調査結果検証

4 作業スケジュール

- 7月下旬～ 調査票・依頼文書・送信用封筒・返信用封筒印刷、送信用準備（※広報9月号掲載郵便料金後納バーコード等準備）
- 8月下旬 調査票発送、広報9月号掲載
- 9月上旬～ 一般および高校生調査開始
- 9月中旬 回収票の入力集計
- 9月下旬 回答期限
- 10月下旬 中間報告書（単純集計結果）提出
- 1月下旬 最終報告書提出
- 3月下旬 調査結果検証

5 多治見市情報セキュリティポリシー及び個人情報の取扱いに関する特記事項の厳守

本市の情報資産の適正管理及び個人情報の取扱いについて、多治見市情報セキュリティ基本規程（平成 15 年訓令甲第 15 号）及び個人情報の取扱いに関する特記事項を厳守すること。

6 環境への配慮事項

- ・業務全般で環境への配慮に努めるものとする。
- ・排出された廃棄物を適正に処理処分する。
- ・業務周辺の環境の清掃および美化に努める。
- ・グリーン購入やエコマーク商品など環境に配慮した商品を積極的に使用すること。

7 その他

- ・業務実施にあたっては、発注者との協議のもと進めること
- ・事業受託の際に知り得た情報の漏洩及び目的外使用を禁止
- ・調査票、データ等は、業務終了後、全て発注者に引き渡すこと
- ・妨害又は不当要求に対する通報義務
 - ①受注者は契約の履行に当たり、暴力団又は暴力団員等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求を受けた場合又は契約の適正な履行を妨害された場合は警察に通報しなければならない。なお、これらの不当介入を受けたにも関わらず通報しない場合は指名停止措置を講じることがある。
 - ②受注者は暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことに起因して履行期間内に契約内容を完了することができないときは、発注者に対して履行期間の延長を請求することができる。
- ・契約内容に疑義が生じた場合は、発注者と協議したうえで業務を遂行してください。